

超高純度ポリエチレングリコール

001-02

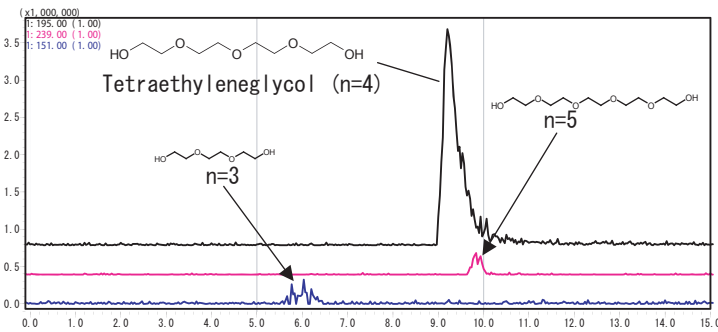
Shinsei Chemical Ltd.

schem.jp

当社は分子量 200 (PEG-4 : 分子量 194) から分子量 5,000 以上の高純度品合成法を確立しました。一般に入手可能なポリエチレングリコールは比較的分子量でも繰り返し単位の短い、または長い構造が不純物として含まれますが、当社独自の技術で開発したポリエチレングリコールは繰り返し単位の異なる不純物がなく単一品です。この PEG を原料に用いることで分子量の微妙な違いに起因する活性データのブレを回避し、再現性の高い評価結果が期待できます。

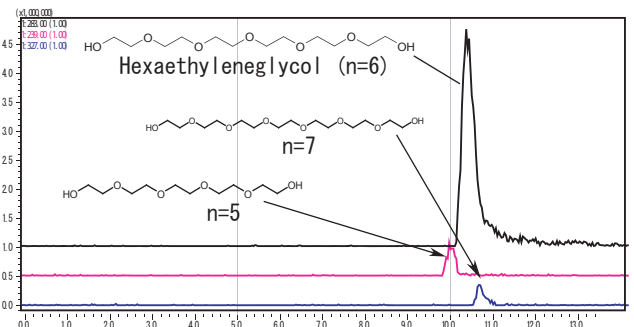
用途

- ・ 医薬品研究試薬
 - 官能基と担体を結ぶ親水性リンカー
 - 複数官能基同士を一定の距離に保つスペーサー
 - タンパク質、生理活性物質等の代謝抑制 (ステルス化) 剤
- ・ 高純度の新素材
 - 親水性の表面改質剤
 - 高品質非イオン性界面活性剤
 - 絶縁材や電解質溶媒
 - 有機金属とのハイブリッド素材・触媒
 - 樹脂のコーティング剤



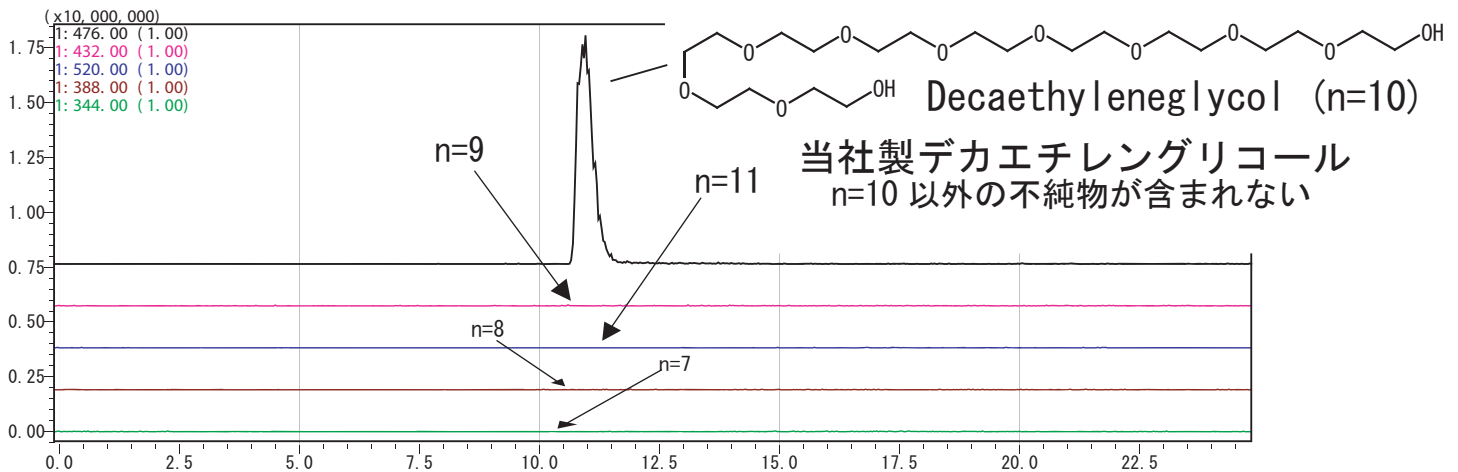
A 社製 テトラエチレングリコール (繰り返し単位 n=4)

LC-MS クロマトグラム n=3 と n=5 が不純物として各数 % 含まれる



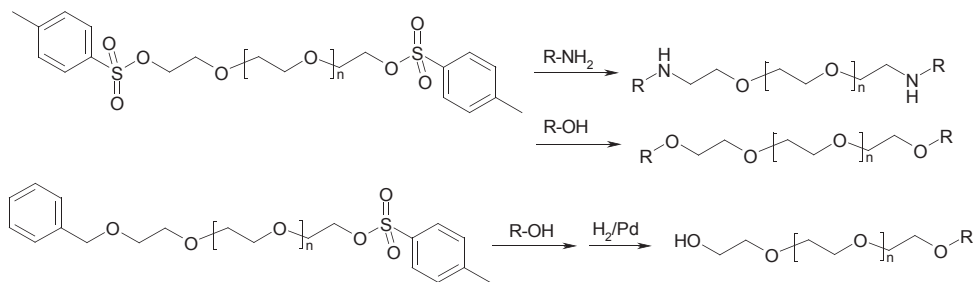
B 社製 ヘキサエチレングリコール (繰り返し単位 n=6)

n=5 と n=7 が不純物として各数 % 含まれる

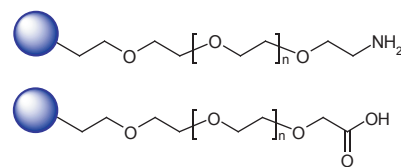


当社製デカエチレングリコール
n=10 以外の不純物が含まれない

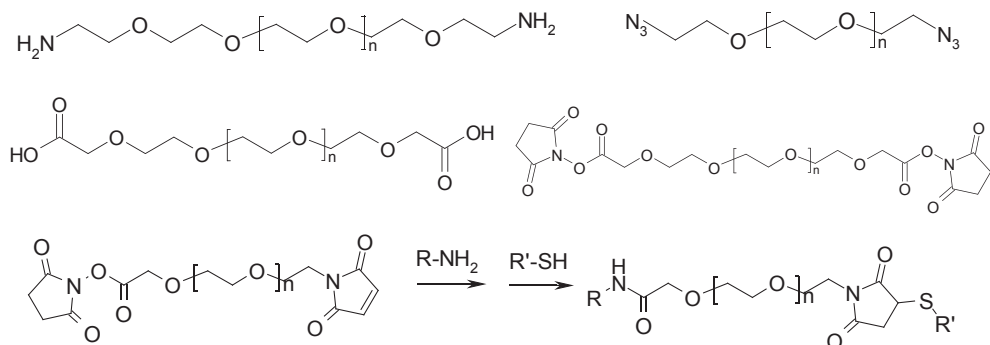
活性化体 (ハロゲン等価)



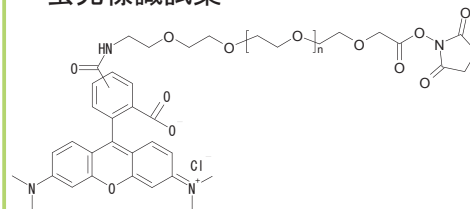
PEG リンカー樹脂



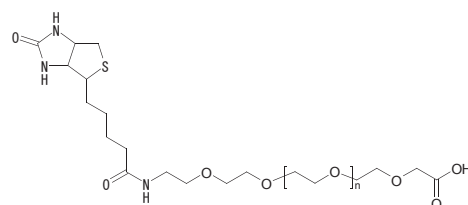
末端修飾体



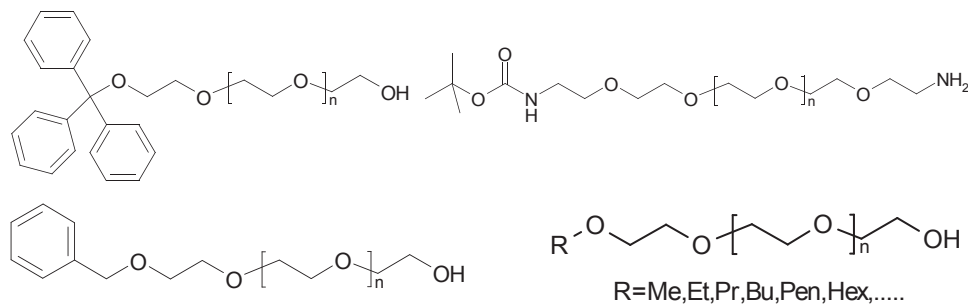
蛍光標識試薬



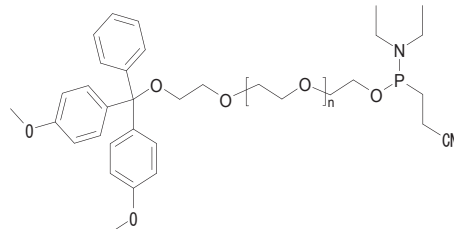
Biotin 化試薬



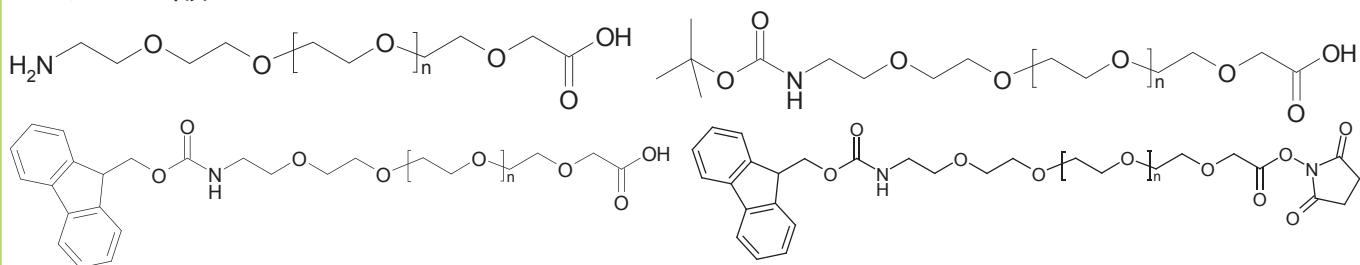
片側保護体



DNA モノマー (Amidite)



アミノ酸モノマー



ポリエチレングリコール (PEG) の用途は幅広く医薬品開発用試薬、新素材、各種コーティング剤等、多岐にわたります。当社で開発した超高純度ポリエチレングリコールを原料に用い、上記に限らずあらゆる構造の有機化合物、有機金属化合物等の特注合成に対応いたします。